

施設名称	〔41〕 東京都台東区立松が谷児童館					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H22.4.1	~	H27.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ(平成23年末まで13こどもクラブ)					
(3)経営状況	(25年度決算ベース)〔社会福祉事業会計〕 収入2,763,451,917円, 支出2,624,027,474円, 収支差額139,424,443円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区松が谷4-15-11					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日(第三日曜日を除く)：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日(5月5日は開放)					
(5)規模	RC4階建て 3・4階 遊戯室・図書室・図工室・集会室・こどもクラブ室等 松が谷保育園併設					
(6)人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算	委託料	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000	34,920,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	39,537,000	36,926,000	38,220,000	38,771,000	34,920,000
決算	委託料	33,739,327	39,391,367	39,169,219	39,008,613	34,797,658
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	110,000	557,520	257,751
	管理経費	33,739,327	39,391,367	39,279,219	39,566,133	35,055,409
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	22年度	23年度	24年度	25年度
開館日数		日	334	335	334	333
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度
利用者数		人	36,000	34,806	34,033	35,601

7. 平成25年度評価結果に対する現在までの取り組み

日々の関わりから子ども達の「やりたい」気持ちを大切に、自主企画の実現を支援した。また、中学生のボランティアとの交流から次のボランティアの育成を図った。
 環境整備の徹底、掲示物の工夫、玄関に季節の花のプランターを置くなど、清潔で安心して過ごせる環境整備に努めた。
 民生委員児童委員協議会との共催により、25年度新たに7館合同の下町こどもまつりを実施した。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)清掃・衛生管理 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
	(d)施設の修繕 [2]			
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	乳幼児の母親対象の事業では、子どもの見守り役として町会女性部の協力を得て、世代間交流を進めた。また、小学生に対しては自主企画の実現を支援するなど、広がりのある児童館運営に努めている。
(2)施設の維持管理	A	老朽化している部分については、速やかに修繕を行い、利用者が安心して快適に過ごせる居場所となるように努めている。
(3)利用者の満足度	A	各部屋の整理の徹底や掲示物の工夫など、清潔で安心して過ごせる環境整備に努めた。乳幼児親子、小学生、中学生のそれぞれの要望に応え、好きな遊びや活動を楽しめるように配慮したことで、利用者アンケートでの満足度は高い。
(4)収入支出	A	リサイクルを推進し、消耗品の一括購入、長期契約などの経費節減、事務の効率化を図った。職員の人事異動により人件費が減少した。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	保護者向けプログラムでは、町会女性部に子どもの見守りをお願いするなど、新たな地域との関わりを広げ、地域を巻き込んだ児童健全育成の試みを実践している。
-----------	--

11. 平成26年度評価結果に対する今後の対応

- ・「自己実現」の場として「やりたいこと」への支援を行い、利用者の自主性・主体性を育む。
- ・子ども達や保護者の悩みなど気軽に相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、利用者の要望等に寄り添い、利用者の立場に立った運営に取り組む。
- ・地域と繋がる児童館として、近くの公園等も活用した活動を広める。